

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 志井 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

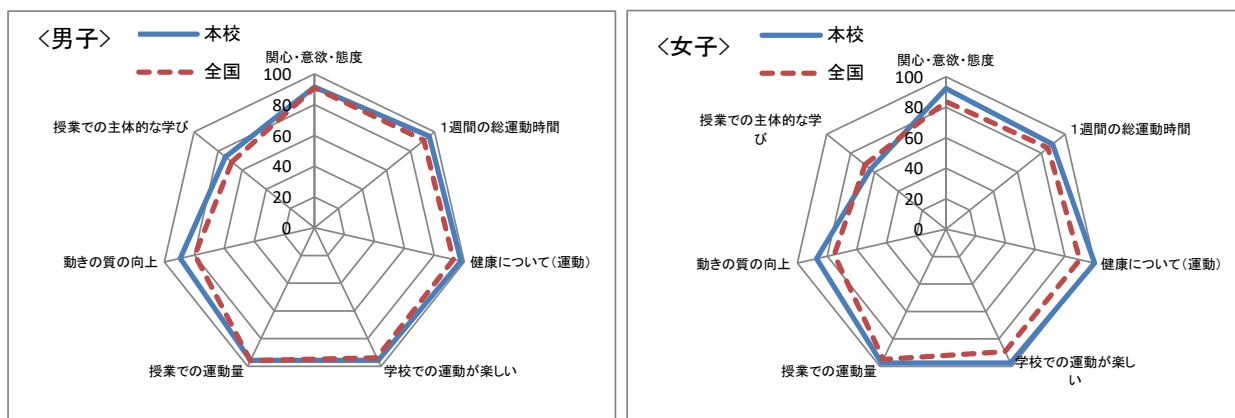
2. 本市における調査内容

- (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

- ・ほとんどの項目について全国平均を上回っているが、女子の「授業での主体的な学び(体力・運動能力の向上について自分なりの目標を立てているか)」の項目については、わずかではあるが全国平均を下回っている。
- ・本年度から体育専科教員が配置され、高学年を中心に体育科の専科制の授業が行われている。その結果、授業中の運動の質と量が充実し、児童の関心・意欲・態度の向上につながっていると考えられる。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- ・全学級で、授業の初めにめあてを確認する時間を確保するとともに、終わりに一時間の学習を振り返る活動を位置づけ、児童が自分の伸びやできたことの喜びを実感できるようにしていく。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

- ・全学級で、一時間の授業の中に「短縄チャレンジタイム」を取り入れ、体力の向上を図る。
- ・学校通信等を通して、健康の大切さや体力向上に関する取組を保護者や地域に啓発していく。